

皆さんこんにちは。(一社)Roots Ontakeの後藤と申します。御嶽山のすそ野に広がる田の原で湿原の再生を目指し、2024年より「ミズゴケ応援隊」として笹刈りを行っています。

笹刈りを行なうためには許可が必要で、王滝村役場の関係者の方々には大変お世話になっております。

古いパンフレットや、村誌王滝にある昔の写真などから、田の原にはかつてもっと多くの湿原があったことがわかります。



クロユリ



モウセンゴケ



コバイケイソウ



ミズゴケ



しかし現在は乾燥が進み、クロユリやコバイケイソウ、ミズゴケやモウセンゴケなどの湿地を好む植物たちは、笹の間や乾いた土の厳しい環境の中で、それでも毎年可憐な花を咲かせています。

池塘で羽化した
ルリボシヤンマ

かつての姿に戻すのは無理かもしれない。でも今笹を減らしていくことで、植物たちが増え、たくさんの小さな花が風に揺れる湿原を、たとえ少しづつでも取り戻していきたい。

そんな思いを持つ仲間が集まって、手作業で笹を刈り、湿原にあるべきミズゴケたちが増えていくことを目指しています。

私達の故郷のお山 御嶽山。そしてそのすそ野に広がる王滝村。田の原にある貴重な湿原の環境を未来の人へしっかりと手渡していくために、今私たちにできることを一緒に考え、行動していきませんか。

(左から)
金田考示

富山からやってくる。各地の施工に参加し、経験豊富。

後藤 静

二子持に住んでいます。皆に遅れないようエッホエッホ…

鈴木真美

醤油搾り師！
木守屋の卵は息子さんが生産しています。



宮坂紀久子

Roots Ontake 代表。
最後にビシッと決める人です。

坂下佳奈

素泊宿matarihouse運営。
木曾踊り保存会会員。

畠山智明

自身も「は組」で施工を請負い各地で指導。
ギター弾きます。

裏面へ続きます～(*'▽')

一般社団法人Roots Ontake とは

2020年に御嶽山再生プロジェクトとして、4人のメンバーでスタートし、一般社団法人として登記するにあたり、現在の名称になりました。

御嶽山と、活動の中で感じるキーワード「Roots」を組合わせた名称です。「Roots」には根・根元・根源・基礎・核心・山の麓・海の底・先祖・始祖・ルーツなど、たくさんの意味があります。

日本の伝統的な民間土木の知恵と技を生かし、環境を重んじた施工を目指しています。

ミズゴケってどんな苔？

ミズゴケは光合成を行う細胞のほかに、表面に穴のある空洞になった細胞を持ち、そこに沢山の水を貯えることができます。

その保水力は、乾燥した重量の20倍もの水を含むことが出来るのです。低温や弱酸性、貧栄養などの厳しい環境にある田の原のような高層湿原には欠かせない植物です。



そうはいつでも笹刈りはとても地道で**じみ**～な作業です。笹の生長点は 根元にあるので、しっかり刈り取らないとすぐにまた生えてきます。

効率よりも丁寧さが必要で、時々腰を伸ばしながらの作業です。

(2024年、許可をいただいた池塘周辺での笹刈りの様子です)

ミズゴケ応援隊が大切にしていること

答えを出してくれるのは植物です。人間目線で見るとはなく、少しでも植物目線に近づいていくこと。

とにかくよ～く観察して、植物が教えてくれるサインを見逃がさないよう五感をフルに使い、感覚を研ぎ澄ます努力をし続けること…

春が来て雪が溶け植物が動き出すと、どんな答えを出してくれるのか、楽しみでもあり、心配でもあります。



とても小さな白いモウセンゴケの花



一般社団法人Roots Ontake

長野県木曾郡木曾福島1240

mail: 3067kisoontake@gmail.com

編集後記

お読みいただきありがとうございます。今後も不定期で発行します。ご興味のある方は是非お声がけください。たくさんの方々の思いのこもった**手**を待っています！

登山道の施工の様子など
ブログでご覧下さい→

